

# ちえーずーていんばーでー

平成 29 年 5 月 1 日

vol.1

ヤンゴン日本人学校

武山 公之

## は～るばる 来たぜ ヤンゴン～♪

みなさんご無沙汰しております。帯広市立緑園中学校の武山です。今年度の4月にヤンゴン日本人学校に赴任しました。早いもので間もなく 1 ヶ月になりますとされています。

タイトルの「ちえーずーていんばーでー」ですが、ミャンマー語で『ありがとうございます』という意味です。感謝の気持ちを忘れないよう、このタイトルにしました。ひらがな表記するとなんどものんびりした印象を受けますが、実際にはこの言葉を 0.5 秒くらいの早口で言います。結構口をしっかりと動かさないと発音できず、活舌が悪いと若干舌をかみそります。(笑)



見出しがちょっとふざけていてごめんなさい。『北海道感』を出そうかと、北島三郎さんの「函館の女」を引用させてもらいました。こちらの国では日本人会のつながりが強く、「どさんこ会」など日本の地域ごとの集まりや、「カープ会」など応援している野球チームの会まであります。つまり、いろいろな名目で会を作り、たくさんの人と触れ合う機会を多くしているということです。1か月間で学校職員とその家族、保護者、サークルの方 etc…とたくさんの方にお会いしました。みなさんともフレンドリーに接してくれます。

さて、第1回目ということでこちらの『年末年始』のことを少し紹介したいと思います。

こちらの暦は日本とは少々違います。日本で年末年始といえば 12/31～1/3 あたりを指しますが、ミャンマーでは「4/12～21」くらいの時期がそれに当たります。つまり、私は赴任直後に「年末年始休暇」に突入してしまいました。学校のことが何もわからないまま、3日出勤して2週間近くの休みになってしまったということです。ちなみに今年は3月まで『23 日まで祝日』となっていたそうですが、4月に入り政府が『17 日から仕事！』と言って祝日を急遽変えるということがあったそうです。うちの学校もそれに合わせて 17 日から新学期としたかったのですが、あまりにも急な話で、日本に帰国している生徒が多数いるため、3月に出した予定通り 24 日からのスタートとなりました。このあたりも、なかなか日本では経験できない話で面白いです。

この期間の「13～16」の間には『ティンジャン』と呼ばれる『水かけ祭り』が行われます。考え方としては「昨年の悪いものを水できれいに洗い流して、きれいになって新年を迎えよう」というものなのですが、そのやり方がすごいです！ 水かけ専用ブースまで組まれ、そこからはケルヒャーや消防用放水の強烈な一撃が雨霰と放たれます。



我が家も他の学校職員達と一緒に 13 日に参加してきました！ 軽トラ 2 台をチャーターし、荷台に大きな水桶を置きロープを張り、そして水鉄砲やたらいなどの水かけグッズ & 飲み物を積み込み、荷台に乗って出発です。



人が乗っているのに、軽トラは 40km/h 位でぶつ飛んでいきます！ そして、水かけ準備している家やブースを見つけると減速してそこへ寄っていき、互いに水をかける！ これをひたすら繰り返します。

かけられる水も、水道水から近くのインヤー湖から運んできたちょっと緑色した臭う水、そして氷をガンガンに入れた冷水とバリエーションが豊富です。かかった水が口に入ったら、絶対飲み込まず吐き出します。

家によっては水をかけたあと、家の人が飴やジュース、飲み物や食べ物をくれることがあります。こちらは仏教の教えが強く浸透していて、『人に物を施す=「徳」を積む=来世の幸せに繋がる』という考え方なので、誰にでも振る舞ってくれるそうです。

この期間は殆どの人がティンジャンに突入するため、どの店も閉まっていて何も買えません。それくらいこの4日間の『お祭り』が大切です。老若男女、ミャンマー人も外国人もみんな一緒になって水をかけ、かれられ、笑い、そして新年を迎えます。17 日が『元旦』。この日には何事もなかったかのように、すべてが元通り！ 街が動き出します。

まだまだ始まったばかりのミャンマー生活ですが、いろいろな出会いが待っています。また来月紹介したいと思います。